

令和6年度事業報告

＜情報提供事業＞

○楽しい子どもニュース 「アッタくん」の発行

毎月発行で 224 号から 235 号まで計 12 回発行した。イベントの告知や報告だけでなく、スタッフの紹介を載せたり、地域で活躍されている方や B-Net 子どもセンターに関わる地域の方々を紹介したりすることができた。昨年度同様、紙配布を続けている。

現在、町内 2 つの小学校(酒々井小学校、大室台小学校)、スーパー(ナリタヤ、SENDO、タイヨー)、JR 酒々井駅、公共施設(酒々井町役場、酒々井町中央公民館、プリミエール、社会福祉協議会)、まがりや、順天堂大学などに配布させていただいている。

内 容	実施日	収 入	支 出	
情報紙 楽しい子どもニュース 「アッタくん」の発行	毎月 1 回 1000 部発行	0	情報紙用紙代	28,768
			印刷代	17,800
		0	合計	46,568

○ホームページの運営

内 容	実施日	収 入	支 出	
インターネット インスタグラム ツイッター	随時	0	アサヒネット	56,760
			ウイルスバスター	18,700

○B-Net 掲示板

令和 5 年度の段階で購入済みであった新たな掲示板は、無事に取り付けを完了することができた。しかし、現時点ではまだ活用には至っていないため、令和 7 年度ではイベントの告知やポスター等を掲示し、有効に活用していきたい。

＜子育て支援事業＞

子ども教室「アッタくん」やイベントに参加する子どもたちから、年間登録料として2,000円（子ども教室運営費1,200円、年間保険料800円）を徴収した。登録者数は24人であった。保険はスポーツ安全保険で、活動中、通常経路往復中の事故に対応し、保険期間令和6年4月1日から令和7年3月31日まで適用され、保険加入者数は36人であった。

		収入	支出
B-Net 登録人数	24人	28,800	
スポーツ安全保険加入	36人	28,800	28,800
スポーツ安全保険加入スタッフ	42人	0	72,450
合 計		57,600	101,250

§ 自然体験・文化体験・宿泊体験

本事業では、地域の子どもたちが B-Net スタッフの企画するイベントに参加することを通じて、新たな気づきや集団の中での自己成長を促すことを目的としている。令和6年度も、農業体験をはじめとする自然とのふれあいや、季節や地域の特色を活かした文化体験、さらには宿泊を伴う活動など、子どもたちにとって日常とは異なる学びの機会を提供してきた。

異なる学校に通う子どもたち同士の交流はもちろん、スタッフや地域の方々との関わりも生まれ、子どもたちにとって新しい人間関係の構築や社会性の育成につながっている。また、私たちスタッフにとっても、子どもたちや地域と関わる貴重な場となっており、共に成長していく機会として大切にしている活動である。

今年度は、これまで以上に多くの参加希望に応えられるよう体制を整え、より広く事業を展開することに注力してきた。規模の拡大にはさまざまな課題もあるが、より多くの子どもたちと出会い、つながることは我々にとっても学びと成長の糧となっている。イベントの周知においても、従来の掲示や紙媒体に加え、SNS の活用にも力を入れることで、より多くの方々に情報を届けられるよう工夫を重ねた。今後も、地域に根ざした活動を通じて子どもたちとともに成長できる場づくりを目指していくたい。

4月の筍掘り、5月と9月の田植え、稲刈り、7月の料理教室、5月・11月の苗植え、芋掘り、12月のクリスマス、1月のお正月、2月の星空合宿、1年間行ったアッタくんは子どもゆめ基金から助成金をいただくことができた。

«子どもゆめ基金助成金事業»

内 容	参 加 人 数	収 入	支 出	収支
タケノコアドベンチャー 4月20日 筏掘り 場所：馬橋	助成金 参加 小学生 32人 幼児 1人 保護者 4人 スタッフ 21人	37,397 20,470	47,867	10,000
米どいん酒々井 5月11日 田植え 9月14日 稲刈り 場所：根古谷	助成金 田植え参加 小学生 17人 幼児 0人 保護者 1人 稲刈り参加 小学生 9人 幼児 0人 保護者 1人 スタッフ 16人+18人	74,585 12,430	99,519	-24,394
みんなで育てて、おいしいお芋 ゲットだぜ！ 5月26日 芋の苗植え 11月3日 芋掘り	助成金 苗植え参加 小学生 12人 幼児 1人 保護者 0人	71,000 16,920	80,312	7,608

場所：西井戸	芋掘り参加者 小学生17人 幼児0人 保護者2人 スタッフ18人+16人			
郷土料理巡り旅 6月23日 場所：公民館調理室	助成金 参加 小学生18人 スタッフ16人	28,708 10,040	28,748	10,000
みんなでジングルベル！ 12月22日 場所：公民館調理室	助成金 参加 小学生18人 幼児1人 スタッフ11人	27,860 9,500	33,809	3,551
実(已)を結ぶ1年にしよう！ 1月12日 場所：B-Net 子どもセンター	助成金 参加 小学生16人 幼児2人 スタッフ10人	32,784 8,500	31,284	10,000
B-Net 星空探検ツアー 2月22～23日 場所：手賀の丘少年自然の家	助成金 参加 小学生30人 スタッフ27人	154,250 151,300	309,484	-3,934
B-Net 子ども教室 アッタくん	助成金 登録人数 24人	89,340 48,000	127,340	10,000
	子どもゆめ基金合計 参加費、保険料など	515,924 277,160		

※収入の上段は子どもゆめ基金からの助成金で、稻刈り、クリスマス、お正月、星空合宿、アッタくんは確定されていないので変更有り。

«その他事業»

内 容	参 加 人 数	収 入	支 出	収支
デイキャンプ 7月15日 場所：馬橋	参加小学生16人 スタッフ22人	16,910	16,730	180
酒々井ナイトウォーク 8月23日 場所：酒々井総合公園	参加小学生21人 スタッフ19人	7,470	4,434	3,060
パラスポーツイベント 10月12日 場所：大室台小学校	参加小学生13人 スタッフ18人	7,200	1,160	5,860
ハロウィン 10月27日 場所：中央台集会所	参加小学生23人 幼児2人 スタッフ13人	13,690	10,460	3,230

○ B-Net 子ども教室 アッタくん

本年度のB-Net 子ども教室は「異学年交流を図り、相互理解を深めながら、自主性を育む環境をつくる」ということを目標に活動を行ってきた。近年、登録人数減少が課題とされていたが、今年度は昨年度よりもさらに参加人数が増加し、1年間を通して平均15人ほどの子どもたちが参加してくれた。年度初めから参加していた子はもちろん、途中から新たに参加してくれた子も多く、学年の枠を超えて互いに協力し合い、楽しそうに活動する姿が多く見られた。また、子どもたちは屋内外問わず、自分たちで遊び方を考えたり、工夫をこらしたりしながら活動を楽しんでおり、互いに声をかけ合いながら自然と協力し合う姿が多く見られた。そうした関わりの中で、一人ひとりの主体性や人との関わり方が育まれ、大きな成長を感じる1年となった。

さらに、今年度はゆめ基金から助成金をいただけたことで、毎月イベントを開催することができ、子どもたちにとってより充実した時間提供することができた。季節を感じる内容や創造力を育むようなプログラムを通して、子どもたちの表情もいきいきとしており、学びと遊びが自然と融合するような活動となった。

一方で、より良い環境づくりのために、いくつかの課題も引き続き見られた。例えば、アッタくんで定められているルールの運用について、子ども・スタッフ双方がより理解し、日常的に意識できよう、定期的にルールの確認を行う必要がある。また、活動中にスタッフの人数が十分でない場面もあり、子どもたちの満足感に影響することもあった。さらに、活動場所の整理整頓については、子どもたちにとって快適で安全な空間となるよう、スタッフがあらかじめ活動前に環境を整えることはもちろん、日ごろから意識して整理整頓を行っていく姿勢が求められる。これらの点については、今後も改善に取り組み、子どもたちがより安心して楽しく過ごせる環境づくりを目指していきたい。

毎週木曜日放課後から17時まで

場所：B-Net 子どもセンター

«活動写真»



○酒々井町放課後子ども教室

新・放課後子ども総合プランとは、放課後に子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進するため、各区市町村において、文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」と厚生労働省の「放課後児童健全育成事業（児童クラブ）」を一体的あるいは連携して実施する、総合的な放課後対策事業である。地域の方々からのご協力を得て、勉強やスポーツ、文化活動を行い、異学年の児童や地域住民との交流などを目的とした活動である。

酒々井町では、平成19年10月から放課後子ども教室事業が始まり、平成20年度より町から委託を受け、企画・運営を行ってきた。放課後子ども教室には、地域で子どもを育てる社会教育の役割がある。地域の方を中心とした安全監視指導員と学生スタッフの併存による教室運営により、社会教育に厚みを持たせ、保護者・児童双方のニーズにも広く対応してきた。

令和6年度も、地域の方々に多数の教室を開催していただき、子どもたちにとって魅力ある体験活動を通じた充実した放課後の時間を提供することができた。また、今年度より帰宅時間を通年で16時30分（友達と一緒に帰る児童については11月～1月のみ16時まで）に変更した。これにより、特に冬季の参加人数が減少することなく、継続的な参加につながったことから、一定の効果があったと考えられる。今後も、子どもたちがさまざまな経験を重ね、自らの成長につなげていけるよう、引き続き地域と連携しながら、安全で有意義な放課後の場をつくっていきたい。

例年、放課後子ども教室参加者（子ども、保護者、スタッフ、教員）を対象にアンケートを実施しているが、令和6年度は放課後子ども教室に参加している子どものみにアンケートを行った。活動日に紙媒体のアンケートを配布し、その場で記入してもらう形式としたことで、回収率が高く、有効な回答を多数得ることができた。

【活動日時・場所】

●酒々井小学校（主に体育館・ランチルーム・多目的ルーム）

毎週火曜日放課後～午後16時30分まで

●大室台小学校（主に体育館・大ちゃんルーム）

毎週月曜日放課後～午後16時30分まで

小学校	内 容
酒々井小学校	開催日数29回、参加人数のべ778人（内、しういっ子140人） 折り紙教室、書道教室、篠笛・昔遊び教室、スクエアダンス教室、将棋教室、マジック教室、体操教室、造形教室
大室台小学校	開催日数18回、参加人数のべ650人（内、大ちゃん398人） 卓球教室、折り紙教室、書道教室、篠笛・昔遊び教室、スクエアダンス教室、将棋教室、マジック教室

＜町づくり等事業＞

○B-Net 子ども食堂

昨年度に引き続き、今年度も B-Net 子どもセンターを会場として B-Net 子ども食堂を実施した。背景には、近年深刻化する子どもの貧困問題や、それに伴う孤食の増加といった社会的課題がある。こうした状況の中で、2012 年以降、子ども食堂の取り組みは全国的に急速に広がりを見せている。酒々井町においても例外ではなく、同様の課題が存在するものの、これまで町内に子ども食堂はなかった。そこで、地域の子どもたちに「温かい食事を誰かと一緒に囲む時間」を届けるべく、B-Net 子ども食堂を立ち上げ、継続して実施している。

開催日は原則として毎月第 1・第 3 金曜日の月 2 回とし、祝日は休みとした。実施形態はテイクアウトとイートインの併用で行い、近年はイートインの利用者も増えてきている。食事代は子どもは無料、大人は 200 円と設定し、誰もが気軽に参加できる仕組みづくりを心がけている。

令和 6 年度は、酒々井町社会福祉協議会やさかえ・ししいワークサポートセンターをはじめ、地域の皆さまから多くの食材やお菓子のご提供をいただいた。また、キューピーみらいたまご財団、ノーツすこやかこども財団からは助成金を受け取ることができ、活動を安定して継続することができた。

毎回多くの方にご参加いただき、子ども食堂の取り組みが地域に根づきつつあることを実感している。今後は、イートイン利用がより定着し、子どもたちが食事を通して自然に会話や交流を深める姿が増えてきた。こうした空間をさらに充実させるために、より一層安心して過ごせる環境づくりと、スタッフ間の連携強化に努めていきたい。

子ども食堂の状況

	回数	子ども	大人	合計	食事代
令和 5 年度	24 回	564 人	457 人	1,021 人	128,129 円
令和 6 年度	22 回	691 人	460 人	1,151 人	120,832 円
前年度比	92%	123%	101%	113%	94%

収入合計	574,832 円	支出合計	504,398 円	
助成金	440,000 円	食材費	335,000 円	
食事代	120,832 円	消耗品	169,398 円	
寄付金	14,000 円	収支 70,434 円		

○助成金内訳

キューピー未来財団助成金	140,000
ノーツすこやか子ども財団助成金	300,000

○イオン黄色いレシートキャンペーン（成田イオン）

黄色いレシートキャンペーンとは、イオンデー（毎月 11 日）にイオンで買い物をする際に出る黄色いレシートを登録している団体のボックスに投函すると、総額の 1 % がその団体に贈られるというものである。翌年度 4 月に 2024 年 3 月～2025 年 2 月分の 37,900 円をいただいた。購入するものについては検討中である。

○B-Net 子ども夏祭り

令和6年度のB-Net 子ども夏祭りは、地域の活性化と異学年交流の促進を目的として実施された。新型コロナウイルスの影響で、大規模な地域イベントの開催が難しい状況が続いていたが、昨年度から地域の祭りや行事が再開され、少しずつコミュニティの繋がりが復活している。今回の夏祭りは、こうした地域活動を再び盛り上げるための一環として開催された。

実施日は令和6年9月22日、場所は中央台公園を借用した。7月号の情報紙「アッタくん」で子どもスタッフの募集を開始し、タイムスケジュールや活動内容を決定した後、班編成やスタッフの役割を割り当てるなど、子ども会議を開催し、当日の内容を決めていった。情報紙「アッタくん」や広報活動、子どもたちが作成したポスターを町中に掲示し、本イベントの宣伝を行った。

このイベントでは、子どもたちが運営メンバーとして積極的に関わり、屋台の設営や出し物の実施など、イベント全体の企画から運営までを子どもたち自身が行った。実施にあたっては、子どもスタッフは10名が運営メンバーとして参加した。子どもたちが主体となり、屋台や出し物の準備から運営までを行うことによって、異学年の交流を深め、協調性や達成感を味わうことを目的として進められた。運営の中で、子どもたちは自分たちの意見を出し合い、互いに助け合いながらイベントを作り上げた。これにより、異学年の子どもたちとの交流を深め、協調性や達成感を育むことができた。また、家庭や学校とは異なる環境で、人と共に議論し、準備し、実施することを通じて、貴重な社会体験を積むことができたのではないかと推察した。

イベントの目標としては、集団の中で自分の意見を主張し、他者の意見を尊重する態度を育むこと、自分たちでルールや時間を決め、それを守ることで社会性を身につけること、様々な境遇の人とコミュニケーションを取り、豊かな人間関係を構築することであった。結果として、意見交換や役割分担を通じて、互いに協力し合いながら実行する力を養い、異なる考えを尊重する姿勢が見られ、準備から運営まで自分たちで行う中で、ルールを守り、時間を意識する重要性を実感していた様子もうかがえた。これにより、目標はおおむね達成できたと考える。

令和7年度では規模を拡大し、より楽しいイベントを作りたいと考えている。

項目	項目	項目
補助金	50,000	講師謝礼
寄付金	95,558	会議費
雑収入	47,010	備品購入
自己資金	4,897	印刷製本
		景品
収入計	197,465	消耗品
		通信運搬費
		3,216
		保険料
		4,150
		雑費
		20,020
		保健衛生
		0
		屋台
		43,311
		折込料
		20,268
		支出計
		197,465
		収支
		0

